



“りそにゃ”と

確定拠出年金・加入者の皆さまへのお役立ちニュースレター

まなぼ！ Study

2021
October
10月

制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

ご自身の場合の老後の収支を考えよう

今回は老後資金の2回目です。先月号では、老後資金の一般的な考え方や準備についてご説明しました。今月号では次に、ご自身の場合について具体的に考えてみましょう。

1ヶ月の(支出 - 収入) × 12ヶ月 × ○年(退職後の期間) = **準備が必要な額**

老後の支出を考える

まずは今の生活費から老後の支出を把握する

老後に必要となる支出を費目ごとに考えてみましょう。一般的に老後は交際費や教育費が減少し、医療費は高齢になるほど増加します。そのようなことを加味して考えましょう。まだ細かく計算できないという方は、老後の生活費は現役時代の7割程度を目安として考えましょう。

老後の収入を考える

① もらえる公的年金を「ねんきんネット」で把握する

日本年金機構の「ねんきんネット」は、インターネットを通じて、ご自身の年金の情報を手軽に確認できるサービスです。24時間いつでもパソコンやスマートフォンから公的年金(国民年金や厚生年金)の将来の受取見込額の試算ができます。試算には今までの加入実績が反映されます。まずはログインしてみましょう。

② もらえる退職金や確定拠出年金等を把握する

退職金は老後生活を支える大きな資産となりえます。お勤めの会社の退職金制度を把握しておきましょう。会社によってはモデル退職金額を開示しているところもあります。確定拠出年金は加入者サイトのシミュレーションを活用すると、将来の受取額の試算ができます。現在の積立額を確認し、将来の受取額のシミュレーションも行ってみましょう。

不足額(差額)の準備を考える

① 60歳時点での貯蓄額や負債を予測する

60歳までに貯蓄をどれだけ積み上げることができるかを考えましょう。60歳時点で住宅ローンが残っている方は、繰上げ返済等についても検討しましょう。

② 60歳以降の働き方も考えよう

ある程度の収支が把握できたら、60歳以降の働き方についても考えていきましょう。高齢雇用安定法の改正により、企業には、希望者全員の65歳までの雇用が義務に、70歳までの就業機会確保が努力義務になっています。長く働くことで、老後資金の不足分を補うことができたり、老後資金に余裕が生まれる場合があります。



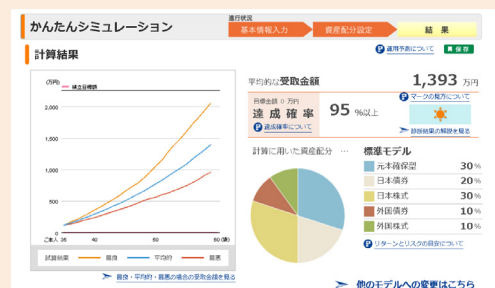
▼ねんきんネット「かんたん試算」



https://www.nenkin.go.jp/n_net/n_net/estimatedamount.html



▼りそな確定拠出年金サイト「かんたんシミュレーション」



ご利用手順はこちら▼

<https://www.resona-tb.co.jp/401k/pop/channel/pdf/process/simulation.pdf>



加入者サイトに入ってみよう！

りそな銀行確定拠出年金加入者サイトでは、皆さまの資産状況、運用商品状況のご確認、将来の受取金額シミュレーション、各種お手続きを行っていただけます。



<https://www.resonabank.co.jp/nenkin/dc/>

★9/16にHPのリニューアルを行いました

2021年10月発行

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター

☎ 0120-401-987+「2#」

※海外からは国際フリーダイヤルをご利用ください。

本レターの無断引用・転載はお断りします。